

せきかわ  
**関川バリアフリーの川づくりの整備推進**  
 ~人と川がふれあう河川空間の創出~  
 せきかわ せきかわ じょうえつし  
 関川水系関川（新潟県上越市）

1. 事業の概要

1) 目的

関川東雲地区の沿川には、小学校、病院、公園施設等の公共施設が多数隣接し、自然体験・環境学習の場、地域住民の日常散策空間として広く利用されているところですが、河川空間を隣接する病院患者のリハビリや憩いの場として利用できるバリアフリー化や、多くの市民が水辺へ容易にアクセスできるような施設の改善が望まれています。

また、沿川の上越市では、独自のまちづくり長期ビジョン「のびやか」プラン」の中で関川沿川をリバーフロントゾーンとして位置づけ、水辺空間を活かしたまちづくりを進めるとともに「上越市・人にやさしいまちづくり条例」を制定して、バリアフリーに関するまちづくりを推進しています。

このような状況から、堤防の緩傾斜化、緩傾斜坂路、親水護岸等の整備を図る事により環境教育や憩いの空間としての活用を促進し、年少者から高齢者まで様々な人々が憩える空間づくりを進めます。

2) 全体計画

緩傾斜坂路7箇所、階段5箇所、緩傾斜堤550m、多自然型護岸1,000m、覆土450m、親水護岸100m等

2. 事業の経緯

平成16年度より緩傾斜坂路、緩傾斜堤等の整備に着手しています。

平成16年度未進捗予定 緩傾斜坂路2箇所、階段2箇所、緩傾斜堤450m、多自然型護岸1,000m

3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は引き続き緩傾斜坂路、緩傾斜堤等の整備を推進します。



整備実施箇所



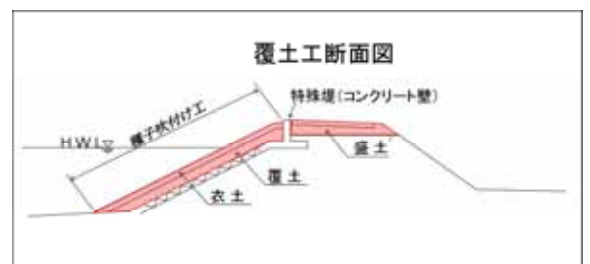
現在、特殊堤により川に近づきにくい



カヌー体験学習状況



バリアフリー坂路整備事例



特殊堤覆土断面図

# 宇奈月ダム水環境改善事業を推進

## 富山県下新川郡宇奈月町

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

黒部川の愛本堰堤下流では、発電取水等に起因する減水や扇状地地形に起因する瀬切れが発生しており、生態系等の河川環境の悪化が懸念されることから、河川の維持流量の確保を図り水環境の改善を積極的に推進します。

#### 2) ダム諸元

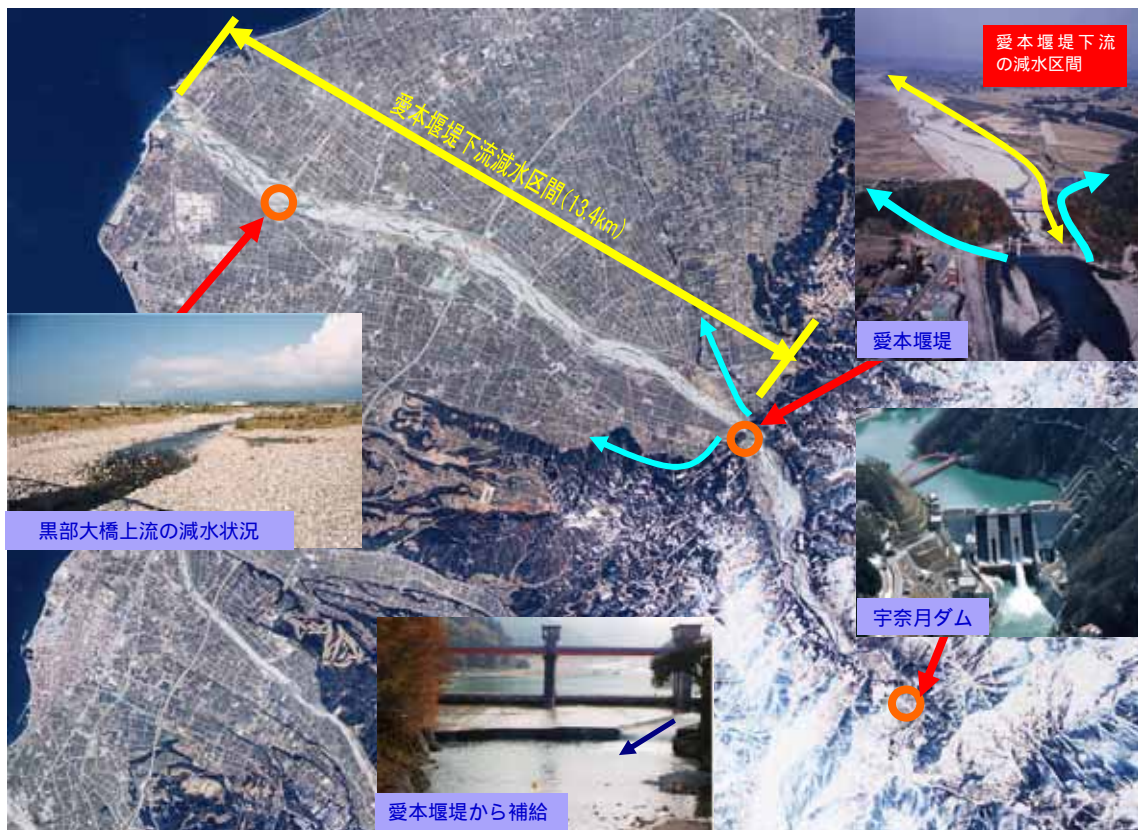
ダム形式：重力式コンクリートダム	ダム高：97m
堤体積：510千 $m^3$	総貯水容量：24,700千 $m^3$

### 2. 事業の経緯

昭和13年度	ダム管理に移行
平成15年度	ダム水環境改善事業に着手

### 3. 平成17年度の要求内容

宇奈月ダムの未利用(0.68 $m^3/s$ )の利水容量を活用し渇水時の河川流量の増加を図り、魚類等の生態系に配慮した水環境の改善を図ります。



かわきたまちみずべ がっこう  
**川北町水辺の楽校プロジェクトの整備推進**  
 ~ 豊かな自然を学習の場として活用 ~  
 てどりがわ のみぐんがわきたまち  
**手取川水系手取川（石川県能美郡川北町）**

1. 事業の概要

1) 目的

手取川は豊かな自然環境が広がっており、近隣の小中学校の野外学習の場や保育所の散策など、地域に広く利用されていることから、平成9年1月に「水辺の楽校」として登録し、豊富な自然を活かした身近な自然教育の場とするため、「自然の理解を育む」、「生きる力を育む」、「地域への愛着を育む」を基本理念として、西部、中央、東部の3拠点において整備を行う全体計画を策定し、川北町と協力しながら整備を行っています。

2) 全体計画

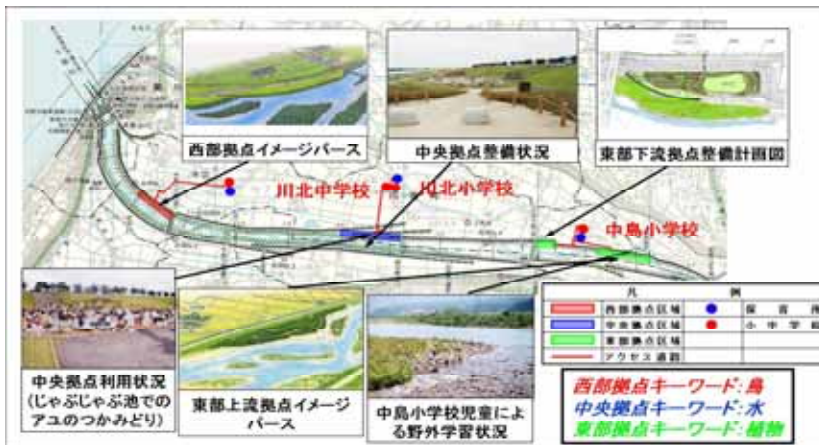
高水敷整正、アクセス階段、学習広場整備等

2. 事業の経緯

メイン拠点となる中央拠点については平成9年度より整備に着手し、川北小学校、川北中学校に隣接した地区の整備を平成13年までに完成しています。東部拠点については平成14年度から整備を推進し、平成16年度に基盤整備が完了予定です。

3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は西部拠点（手取川大橋（国道8号）下流右岸の地区）について、高水敷整正等の基盤整備に着手します。



川北環境整備全体計画



整備後利用状況



平成17年度整備箇所（西部拠点）

# 無電柱化の推進

かたはらまち  
一般国道156号 片原町電線共同溝の整備

たかおか  
富山県高岡市

## 1. 事業の概要

かたはらまち  
片原町電線共同溝は、「伝統と歴史のまち高岡」にふさわしい都市景観の創出と防災機能の向上及び歩行空間のバリアフリー化を目的とした上下線合わせて延長1,280mの事業です。

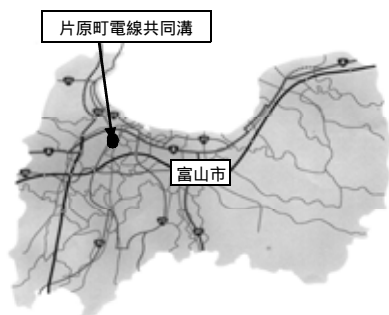
## 2. 事業の経緯

一般国道156号で整備を進めてきた電線共同溝事業の延伸として、平成14年度に事業着手し、平成16年度までに片原横町交差点～大手町交差点間の上下線合わせて740mを整備しています。

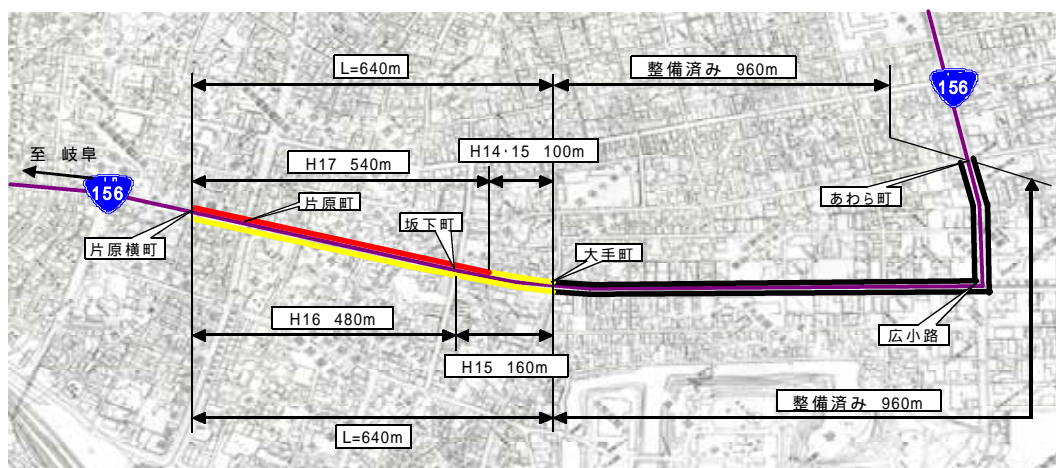
## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、片原横町交差点～坂下町間の下線延長540mについて工事を推進し、事業の完成を目指します。

当該区間の整備により、電柱や電線のない美しい景観と安全で快適な通行空間が確保されます。



一般国道156号高岡市片原町地区  
(高岡市街から岐阜方面を望む)



# 信濃川左岸緑地の整備推進

新潟港：新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

港に親しめる憩いの場を形成するとともに、河川事業により整備された緑地（やすらぎ堤）との連続性を確保することにより、良好な親水空間を提供するものです。

また、当緑地整備区間は、新潟市歴史博物館（愛称：みなとぴあ）が開館されたことを踏まえ、来訪者に対して良好な水辺空間を提供するため、早期完成を目指した整備を進めています。

## 2. 事業の経緯

平成元年に事業に着手し、平成10年3月に一部供用を開始しました。引き続き、未供用部分の早期供用を図るため、護岸等について整備を進めていきます。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年3月27日に開館した新潟市歴史博物館前面の護岸の整備推進を図ります。



信濃川左岸緑地周辺の現況（平成14年10月撮影）

# 加賀の歴史・文化を活かし、まちを活性化

## まちづくり交付金<sup>だいしやうじ</sup>大聖寺地区の事業完成（石川県加賀市）

### 1. 事業の概要

大聖寺地区は古くは10万石の城下町として栄え、現在は山代や片山津といった温泉町と共に発展してきました。当地区には山の下<sup>やまのした</sup>寺院群など貴重な歴史的・文化的資産が数多く残っております。

このため、寺院群・屋敷群の巡るふれあいの道や古民家周辺整備、ポケットパーク、古民家を活かした集会所整備、情報板・サイン整備を一体的に行うことで、観光客の利便性を図り、まちの活性化を図ります。



### 2. 事業の経緯

平成12年度に事業に着手し、現在、街路の整備を行っています。

### 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、寺院群・屋敷群の巡るふれあいの道や案内板等の整備を推進し、事業の完了を目指します。



古民家集会所(蘇梁館)<sup>そりやうかん</sup>での茶会や展示会の状況



山の下通りでのイベントの状況

# 「野生ゾーン」の事業推進

えちごきょうりゅう  
 国営越後丘陵公園 新潟県長岡市

## 1. 事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で初めての国営公園です。

雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

【位置、面積】 新潟県長岡市、約400ha

【全体構成】 「健康ゾーン」(約120ha)、「野生ゾーン」(約180ha)、「文化ゾーン」(約100ha)の3つのゾーン構成で整備

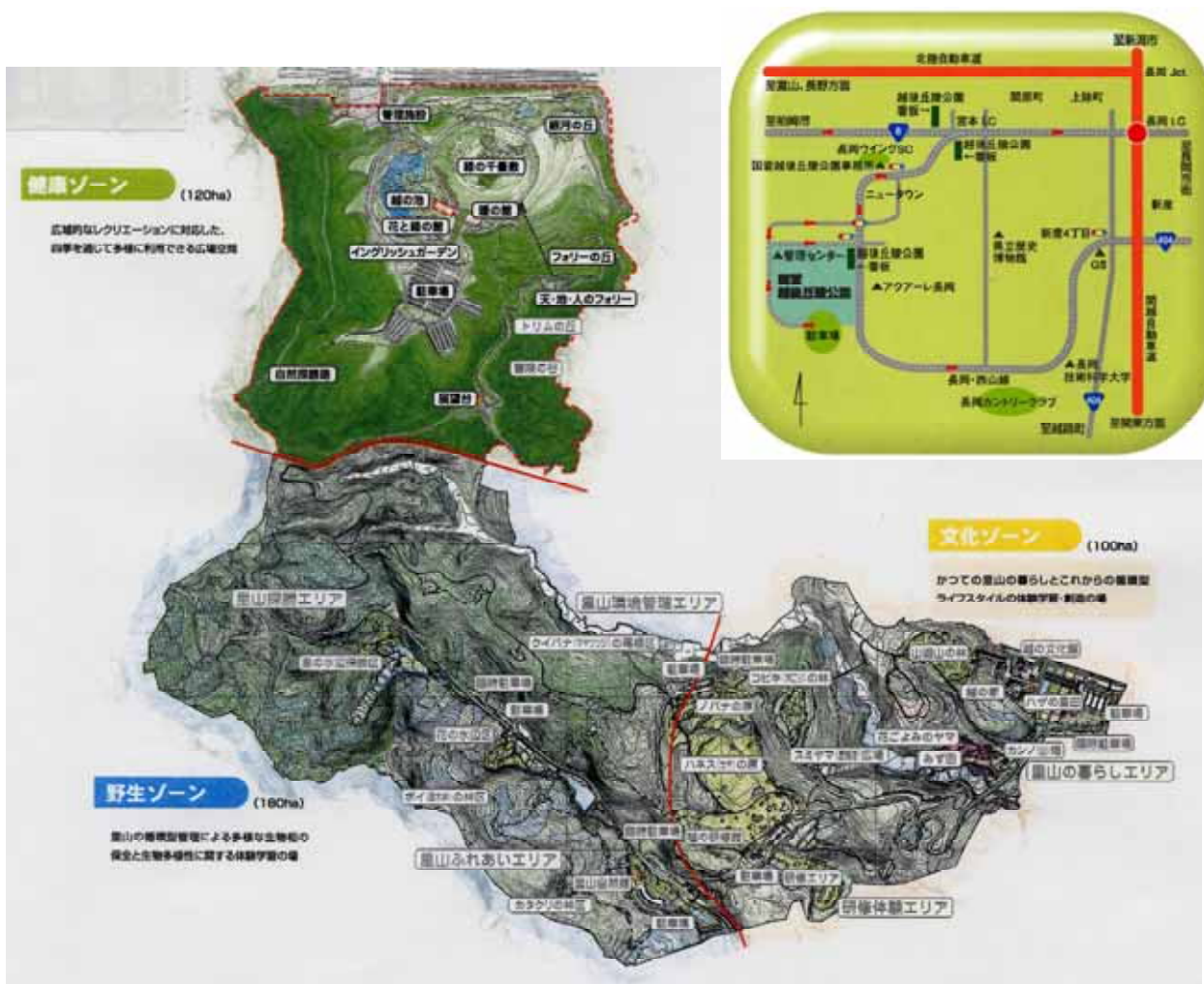
## 2. 事業の経緯

平成元年度に事業を着手し、平成10年7月の29ha開園以来、平成15年度までに「健康ゾーン」の119.6haを開園しています。入園者は、年々増加しており、平成16年7月末現在で、延べ来園者数が160万人が訪れています。

また、平成15年度からは、「野生ゾーン」の早期供用開始を目指し、管理用道路や環境整備に着手しています。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、「野生ゾーン」のうち自然と楽しみながら、里山の体験学習ができる「里山ふれあいエリア」の整備を推進します。また、現在開園中の「健康ゾーン」については、より安全・快適に利用して頂くとともに利用促進を図るため、適切な維持管理を行うとともに、四季を通じてイベント等を開催していきます。



公園計画図(「健康ゾーン」の赤の波線は、開園エリア区域)

# 海岸地区の街なみ環境整備の推進

## 新潟県三島郡出雲崎町（街なみ環境整備事業）

### 1. 事業の概要

出雲崎町の海岸地区は、江戸時代に佐渡金山の北前船の荷揚港として栄え、「天領」の地として栄華を誇る中で、海岸線に沿って細長く続く狭い土地に効率良く居住できるよう「妻入り」と呼ばれる様式の住宅が連続して建てられ、今でも地区内には数多く残されています。

しかしながら、過疎化による空き家の発生や老朽化に伴い昔ながらの風情を残す住宅の取り壊しが進んでおり、妻入りの街なみが衰退しつつあることから、修景施設整備や道路の美装化、通路整備により良好な景観形成を図るとともに、防火水槽の整備等により地域の安全性の向上を図り、美しく良好な居住環境の形成を推進します。

### 2. 事業の経緯

平成14年度	整備方針策定
平成15年度	新規事業採択、地区防災施設整備、道路の美装化
平成16年度	修景施設整備

### 3. 平成17年度の要求内容

地区の住環境向上を図るため地区施設整備として小公園の整備を行います。また、道路の美装化や案内板等、ストリートファニチャーの整備と合わせ住宅の修景施設整備を行うことにより良好な街なみの整備を推進します。

【現 況】



【位 置 図】



【街なみ環境整備イメージ】

